

Facebookにて情報発信中
フォローをお願いします!



4 ほったやまっうしん

vol.159

北塩原村社協広報誌 



スキー
だいすきー!

うらばんだい
サイコー!

ブラインドスキー裏磐梯ツアー

令和8年3月7日(土)~8日(日) EN RESORT Grandeco



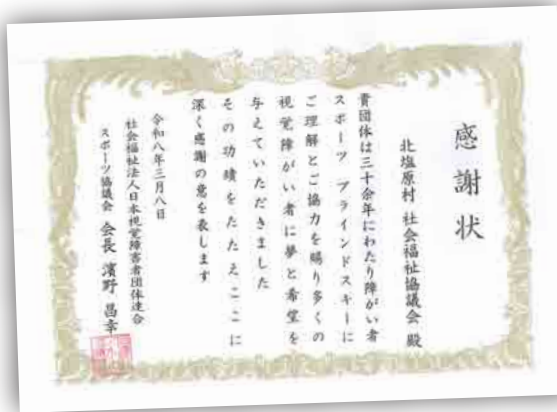
今年で30周年となるツアーが開催されました。東京からは視覚障がいをお持ちの方(ブラインド)13名、サポーター12名が来村。当会の呼びかけにより、2日間で13名の地元サポーターが応援に駆け付けてくださいました。

2日間とも風が強く、寒い中でのスキーとなりましたが、ブラインドとサポーターが息を合わせて滑走する姿は、とても楽しそうに見えました。

1日目の夜はツアー30周年を祝し、懇親会が開催されました。30年の歴史を肴に、夜遅くまで盛り上がったのだとか…。

また、今回のツアー30周年にあたり、(社福)日本視覚障害者団体連合会様より感謝状を頂戴いたしました。この先40年50年と、末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。

ご参加いただいたサポーターの皆様、来年以降もお待ちしております!



災害義援金 受付中

日本赤十字社及び共同募金会では、国内災害義援金を募集しています。みなさまの温かいご協力を、よろしくお願いいたします。

受付中の国内災害義援金

令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金

令和7年8月6日からの大雨災害義援金

令和6年9月能登半島大雨災害義援金

令和6年能登半島地震災害義援金 ほか



日本赤十字社



共同募金会



発行・編集

社会福祉法人
北塩原村
社会福祉協議会

〒966-0402
福島県耶麻郡北塩原村大字大塩字堀田山8518-93
mail hottayama3757@gmail.com
H P https://kitashiobara-shakyo.or.jp

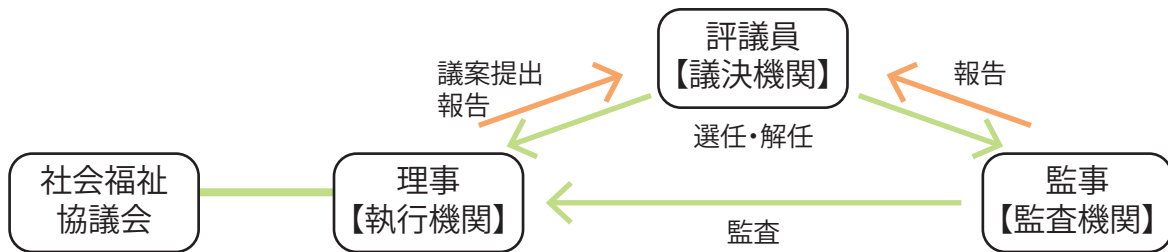
地域福祉係 0241-28-3757
訪問・通所介護係 0241-28-3756
居宅介護支援係 0241-28-3755
地域包括支援センター 0241-28-3766
F A X(共通) 0241-33-2070

この広報は、皆様からお預かりした会員会費を財源に発行しています。

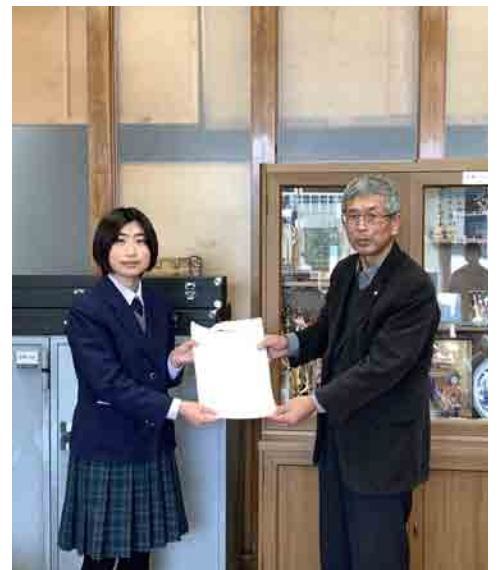
社会福祉協議会
理事・評議員研修



2月20日（金）社会福祉法人の理事及び評議員としての役割や、社会福祉の現状と取り巻く環境、地域共生社会において社会福祉法人に求められる役割などについて理解を深めました。



日赤村分区有功会から
卒業記念品贈呈



3月2日（月）星源嗣会長が各中学校を訪問。卒業生にハンドタオルやボールペン、献血についてのパンフレットなどを贈呈しました。献血は16歳からできますので、ぜひ協力をお願いします。春からの高校生活、楽しんでください！応援しています！

輸血に使用する血液は、まだ人工的に造ることができず、長期保存することもできません。今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、今まで以上に若い世代の献血へのご理解とご協力が必要となります。

老人クラブ連合会若手委員会 ボウリング大会

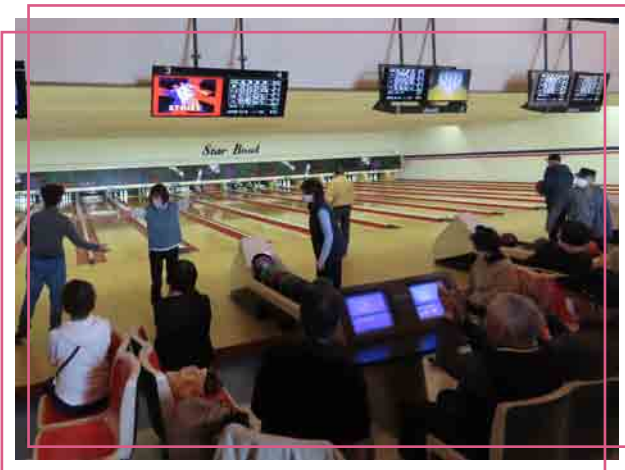
3月6日（金）

喜多方スターボウル



当日は多くの方にご参加いただき、会場は終始笑顔と歓声に包まれました。ストライクやスパアが出るたびに大きな拍手が起こり、参加者同士の交流も深まる楽しい時間となりました。

来年度も若手委員会主催の事業を開催しますので、是非ご参加ください！



上位入賞者（敬称略）

【男子の部】

1. 鈴木吉仲（大久保）
2. 穴澤裕幸（桧原）
3. 高橋庄衛（大塩）
4. 五十嵐栄喜（大塩）
5. 小椋義正（早稲沢）

【女子の部】

1. 金子とく子（桧原）
2. 伊藤淳子（大塩）
3. 渡部喜代子（北山）
4. 江川アヤ子（下吉）
5. 小椋ヨリ子（蛇平）

おめでとうございます！

民生児童委員協議会 手話出前講座



3月10日（火）喜多方ろうあ者会の関口昌子事務局長と、喜多方手話サークルひまわりの会の大谷節子様をお招きし、手話研修を受講しました。自分の名字を手話で覚え、自己紹介。聞こえない・聞こえにくいとはどういうことなのか、こういった事に困り、どのような対応が必要なのかを一緒に考え、聴覚障がいへの理解を深めました。右写真は【おはよう】の手話。

認知症サポーターを知っていますか？

認知症サポーターとは？

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し認知症のある人やその家族を温かく見守る応援者です。全国には1,653万人を超えるサポーターがいて、自分の地域内で見守りや声掛けなど出来る範囲で活動しています。認知症になっても、なじみの人となじみの場所で一緒に過ごすことが出来るように、地域全体で認知症の方を見守り、支え合う意識を育てて行くことが大切です。

認知症サポーターになるには？

認知症サポーター養成講座（約90分）を受講すれば、どなたでもなることができます。講座では、認知症の原因症状、対応の仕方などが分かりやすく学べます。サポーターには受講修了の印である修了証とオレンジリングが交付されます。

認知症サポーター養成講座

【日時】

ご希望の日時をご相談ください

【場所】

村内どこでも ※調整のうえ開催致します

【対象者】

少人数でもグループでもお申込みいただけます

【受講料】

無料

【申込み】

希望日の1か月前までにお申し込み下さい

【問合せ】

地域包括支援センター ☎0241-28-3766



← 認知症サポーター養成講座の様子

受講者の声

- ・自分も何か出来ることをしたいと思います。
- ・もう少し、優しく接するようにしたい。
- ・自分の仕事や子育てで精いっぱい適切な対応が出来ていなかったかもしれない。今後は地域のかになれればと思います。

大募集

認知症川柳 投稿者募集

応募資格：北塩原村に在住、または勤務している方。

応募方法：お名前(ペンネーム) 年齢、行政区名、電話番号を明記のうえメール、FAXまたは手書き用紙で受け付けています。



休日相談窓口

4月11日(土)

もの忘れ、足腰の弱り、生活の困りごと 介護保険の手続きや介護サービス利用等 電話・来所 でのご相談お待ちしております。

☎0241-28-3766

認知症川柳

- 物忘れ 何を忘れた？ それすらも知らず (スズラン 八八才 北山)
- 認知症 近所の支えが 暮らすコツ (昔は女学生 社協職員)
- 鬱金香(チューリップ) どこか似ている 花の中 (ガハク 九三才 蛇平)
- トラブルは 孫が審判 「ハイピース」！ (むかしの姉ちゃん 七九才 早稲沢)
- 芋蒔くや 春出し馬の 老夫婦 (春夏秋冬 八二才 北山)
- じいちゃんと 歩く坂道 手をにぎり (京子ちゃん 八六才 松陽台)

おしえて!

ケアマネジャー
さん!!

「介護保険サービスを使いたい!」

そんな時は **ケアマネジャー** がお手伝いします!



「介護保険サービスは、いっぱいありすぎてわかりにくい!」
訪問先で、そんな厳しいお言葉を頂戴することが時々あります…。
今月も、介護サービスの種類を紹介します!

サービスを受ける場所

自宅 ◀
施設
地域密着型



サービスの種類

訪問系サービス
通所系サービス ◀
短期滞在系サービス
福祉用具レンタル・購入
施設・居住系サービス

自宅で受けられる「通所系サービス」

通所リハビリテーション(デイケア)

可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるように支援するサービスです。医師等と連携を図りながら、老人保健施設や病院、診療所などに通い、身体機能や口腔機能(嚥んで飲み込んだり話す力)の向上を図ります。

通所介護(デイサービス)

送迎付きで、食事や入浴、レクリエーションなどのサービスを受けることができます。社交の場に参加し、体や頭を使うことで、気分のリフレッシュ、閉じこもり防止、生きがいづくりなどを図ります。



2つのサービスの違いは「目的」です。デイケアは専門的なスタッフによるリハビリに特化しているのに対し、デイサービスは食事や入浴など、生活援助サービスが主な目的です。

居宅介護支援係(小林・内堀) 0241-28-3755 / 080-9425-7758

どうなの?

ヘルパー
さん!!

訪問介護サービスでは、「できること」と「できないこと」があります。

「これはできる?」その疑問 **敏腕ヘルパー** がお答えします!

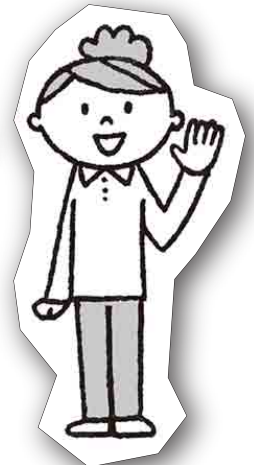
【相談者】

Mさん(仮名) 75歳 女性 長男と2人暮らし
『暦の上では春とはいえ、朝晩は寒い…』

今度村の花見があって、
久しぶりにみんなと顔を合わせるの♪
春らしい洋服を着て出掛けたくて～
ヘルパーさん! 洋服の整理をしたい
けど、一緒に手伝ってくれる?

できます!

一緒に衣類の整理しましょうね。
季節の変化を感じて
気持ちも前向きに～



訪問介護係(加藤・穴澤・赤城) 0241-28-3756

＊ひなまつり＊

職員が紙コップで作った三段飾りを見た利用者さんから「昔は大きなひな人形を飾ったね」と昔懐かしい思い出話に花が咲きました。また、丸めた花紙をひなあられに見立ててゲームを行いました。



◎創作活動◎

今月は『お花紙アート』に挑戦しています。大きい壁絵の上に丸めた花紙を手分けして貼りつけています。利用者さんは細かい作業に全集中して取り組んでおられます。どんな壁絵に出来あがるのか、いまからとても楽しみです。



通所介護(デイサービス)に関するお問い合わせは、**通所介護係**まで(佐藤・赤城)

設置していますか？ 作動しますか？

命・家族・地域を守る 住宅用火災警報器

管内において、死者が発生した住宅火災は、過去10年で10件発生しており、7件が住宅用火災警報器未設置でした。死者が発生した火災の多くが、住宅用火災警報器が設置されていなかったため、火災の発見が遅くなり逃げ遅れたものと考えられます。

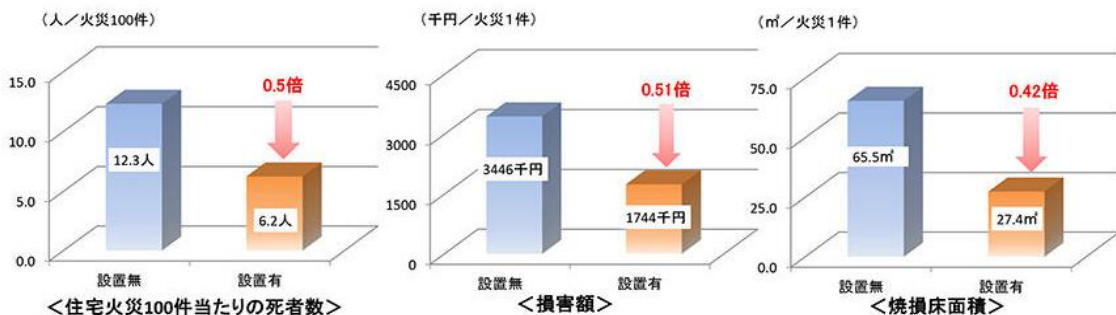
死者が発生した火災の概要（抜粋）

発生年	出火推定時間	出火原因	概要
H30年	2:00頃	不明	死者2名、就寝中に出火
R元年	2:00頃	コンロ	死者2名、コンロを消し忘れたまま就寝、就寝中に出火
R3年	5:20頃	石油ストーブ	死者1名、火災の発見が遅れたもの
R3年	13:20頃	たばこ	死者1名、昼寝中に出火
R7年	2:50頃	不明	死者1名、火災の発見が遅れたもの

住宅用火災警報器の設置効果

令和2年から令和5年までの4年間における失火を原因とした住宅火災について、火災報告を基に、住宅用火災警報器の設置効果を分析

※住宅火災のうち原因経過が「放火」又は「放火の疑い」であるものを除く件数を、「失火を原因とした住宅火災」の件数としている。



注1)「死者」とは、火災現場において火災に直接起因して死亡した者であり、火災により負傷した後48時間以内に死亡した者を含む。
注2)死者の発生した経過が「殺人・自損」(放火自殺、放火自殺者の巻添者、放火殺人の犠牲者)であるものを除く。

死者数、焼損床面積及び損害額を見ると、住宅用火災警報器を設置している場合は、設置していない場合に比べ、死者数、損害額は半減、焼損床面積は6割減



住宅用火災警報器を設置することで、火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少

住宅用火災警報器の設置は、消防法及び火災予防条例で設置が義務付けられています。まだ設置をされていない世帯は、設置するようお願いします。

設置されている世帯についても、正常に作動するか定期的に点検を行い、10年を目安に交換をしましょう。



喜多方消防本部
予防課 22-6213

善意のひろば

R8.1.16~2.15

御遺志

丸山 久志 様 (故 丸山 みさと 様 : 北山)
赤城 一也 様 (故 赤城 光衛 様 : 大塩)

物品の御寄附

猪俣 里子 様 (関屋)
匿名希望 様



ご厚情ありがとうございました。

行事予定

- 4/14 民協役員会・定例会・決算総会
(デイサービスセンター・保健センター)
- 4/17 老人クラブ連合会総会
(ホテル観山)
- 4/24 身体障がい者福祉会総会
(喜多方市 華会席瑞兆)

脳トレコーナー

8	3	1	7		5	2		6
4			9	6		3	1	8
6				8	3	5	7	4
7	4	2		9			5	1
	8		2			6	3	9
	6	3	5	1	8	4	2	7
3	9	8			1	7		2
		4	6	2	7	9		3
2		6	8		9	1	4	5

ナンプレに挑戦!

-----ルール-----
1~9の数字を使って、
「たて・よこ・3×3の
ブロックに同じ数字が入
らないように完成させま
しょう。

※答えは来月号に掲載

ボランティア募集中!

デイサービスセンター

お茶出し、レクリエーションの補助、食事の配膳のほか、歌や踊りを披露して下さる方も募集中です。

福祉の仕事相談会

日時
場所

4/15(水) 10:30~14:30

会津若松市社会福祉協議会
会津若松市追手町5-32



人生100年わく湧くカフェ

~古写真で語らんしょ~

「~らんしょ」とは会津弁で「~してください」という意味です。元気が湧く! 力が湧く! 想いが湧く!
人生100年時代を楽しむ集い

講座の内容

- 講座内容の説明 (10分)
- 古写真を見ながらの懇談 (100分)
- 温かい飲み物・茶菓子などの飲食コーナーもあります (随時)

日時

4/18 (土) 10:00 ~ 12:00

自然環境活用センター (和室)

※9:45から入場可、時間内出入り自由

持ち物

ご自身が所有する古写真

5 ~ 10 枚程 ※北塩原村または、その近隣で撮影された写真。

対象

- ① 概ね 60歳 以上の方
- ② 地元高齢者のお話を聞きたい方

※①②合せて、20名程度を想定

申込

地域包括支援センター ☎28-3766

※当日参加も可能ですが、参加人数把握のため事前申し込みにご協力ください。

《講座の進め方》

- (1) 古写真を大きなスクリーンで投影します。
- (2) 投影した古写真の所有者の方に、当時の様子や、写真について知っている事をインタビュー形式で発表していただきます。
- (3) 参加者の方から質問や感想を伺い、会場全員で当時の様子に思いを巡らせます。

《写真の取り扱い》

- ・写真は、当日持参してください。
- ・写真は、持参した方が責任を持って管理し紛失、破損等には十分注意してください。
- ・写真は、発表時のみ職員がお預かりし、発表後その場で返却いたします。



担当 大西 亮太 (生活支援コーディネーター)

- ・元市町村職員。会津生まれ会津育ちの会津っ子。
- ・地域の高齢者の方々が、日々の生活を楽しみを持って過ごすことが出来る地域づくりを推進中。